



「今さら」「今から」「今なら」

3学期が始まったと思ったら、もう2月も終わりです。

2024年の始まりは能登半島地震でした。発生からほぼ二か月。水道や電気、ガス等ライフラインが復旧していないところもあるなど、被災者の方々にとっては未だ不便な状況のようです。奈良県からもたくさんの消防士、警察官の皆さんが、復旧に向けて応援に行ってくださいっているようです。また全国各地からボランティアで食事の炊き出し等、被災地の応援に入っている人もいます。被災者の皆さんの当たり前前の生活、当たり前前の日常が、一日も早く戻るよう応援したいと思えます。

さて、子どもたちが登校する日が、あと3週間余りとなりました。

「3週間しかない」と考えると、「今さら」という、あきらめかけた後ろ向きの気持ちになってしまいます。

「まだ3週間あるぞ」と思えば、「さあ、今から」という希望、期待、来年度へつながるような新たな目標も見えてくるでしょう。

そして、「今なら」だと、決意・勇気・行動、一歩踏み出す意思のある言葉となります。

子どもだけでなく、私たち大人にも言えることだと思えます。

「今さら」、「今から」、「今なら」・・・今の皆さんの心には、どの「今」があるでしょうか。

ひなんくんれん ふしんしゃたいおう 避難訓練 (不審者対応)

2月15日(木)、避難訓練(不審者対応)を実施しました。

2時間目の終わりごろ、不審者が校内に侵入したことを伝える「合言葉」を校内放送し、子どもたちは教室の真ん中に集まりずかにすること、児童担当教職員は教室や体育館の施設や教室入り口にバリケードを設置すること、不審者対応担当教職員は不審者に対する対応等行いました。

2001年、大阪教育大学附属池田小学校で、そして2004年、奈良市立富雄北小学校で不審者によって子どもが命を奪われる事件が起きました。

命を守るためには、とっさの判断力が大切です。この判断力は、「未来を予想する力」と言えます。未来を予想し、今、何をしなければならぬのかを冷静に判断する力が必要です。今回のような訓練を通して、どんな時も、いつも未来を予想して、その場その場で、しっかりとした判断ができるようにするため、学び続けたいと思えます。

